

3 出前研修

1 概要

校内研修や教科研究会等の教育機関の研修を支援するため、学校等からの申込みを受けて、県立教育研修所員が研修会場に出向いて、研修を行います。

次の11の研修から選んで、申し込んでください。

番号	校種	研修名	形態	ページ
1	小・中	国語科教育指導研修	講義・演習・協議	8
2	小	理科観察・実験研修	実習	8
3	小	外国語活動研修	講義・演習	8
4	小・中	学校の安全・安心づくり研修	講義・演習・協議	8
5	小・中・高	キャリア教育研修	講義・演習・協議	9
6	小・中・高	ストレスマネジメント教育研修	講義・協議・実習	9
7	小・中・高	「命の大切さ」を実感させる教育研修	講義・実習・協議	9
8	小・中・高	情報モラル研修	講義・演習	10
9	小・中・高	授業におけるICT活用研修	講義・演習	10
10	小・中・高	校務におけるICT活用研修	講義・演習	11
11	小・中・高	授業力向上研修	講義・演習・協議	11

詳しい研修内容は8～11ページをご覧ください。

2 出前研修の申込方法等

(1) 申込みのできる機関

市町組合立学校、県立学校、教科研究会等の教育研究団体、
市町組合教育委員会、市町教育センター、教育事務所等の教育機関

(2) 申込方法

希望する研修が決まったら、県立教育研修所企画調査課に電話する。

TEL 0795-42-3101

研修を希望される2ヶ月前までをお願いします。



企画調査課と日程、場所について打ち合わせる。



研修の日程、場所が決まったら、研修担当課と研修内容について打ち合わせる。



県立教育研修所に「出前研修依頼書」(様式2)を提出する。

- a 市町組合立小学校、中学校、市立高等学校(定時制を除く)及び市立特別支援学校
所属長 → 市町組合教育委員会 → 教育事務所 → 県立教育研修所
- b 市町組合教育委員会、教育センター等
所属長 → 教育事務所 → 県立教育研修所
- c 教育事務所、県立学校(市立高等学校定時制を含む)
所属長 → 県立教育研修所

教科研究会等の教育研究団体の依頼書の提出については、打合せ時にお問い合わせください。
教育研究団体の長が校長でない場合は、団体代表者の所属長を通じて申し込んでください。

(3) 留意点

ア 県立教育研修所員の出張旅費は、原則として当所で負担します。

イ 出前研修に参加する受講者の旅費及び研修に係る経費は、申込機関の負担となります。

ウ 出前研修を実施する日程は、平成23年7月～平成24年2月までの平日(12月29日から1月3日を除く)です。

エ 日程によっては、希望に添えないこともあります。

問い合わせ先 県立教育研修所 企画調査課
申込先 TEL 0795-42-3101

3 出前研修の内容

番号1 国語科教育指導研修

対象校種 小・中学校及び特別支援学校（小・中学部）

研修形態	内 容
講 義	「読解力」を育成するために - 国語科に求められているもの -
演習・協議	PISA型「読解力」を育成するための国語科の授業づくり - 書かれた情報を児童生徒自らの知識や経験に位置づけて理解・評価させる工夫 -

番号2 理科観察・実験研修

対象校種 小学校及び特別支援学校（小学部）

研修形態	内 容
実 習	<例> A 観察・実験の基本技術と指導法 B 「物質・エネルギー」領域における観察・実験 C 「生命・地球」領域における観察・実験 D 「ものづくり」を活用する工夫 等

番号3 外国語活動研修

対象校種 小学校及び特別支援学校（小学部）

研修形態	内 容
講義・演習	児童のコミュニケーション能力の素地を養うために - 児童の実態に即した授業づくり - ・ 指導計画の立て方 ・ 授業における学級担任の役割 ・ 教材や教具の工夫 ・ アクティビティの工夫 等

番号4 学校の安全・安心づくり研修

対象校種 小・中学校及び特別支援学校（小・中学部）

研修形態	内 容
講 義	学校における危機管理について - 安全・安心な学校づくりをめざして -
演習・協議	教職員の危機対応能力の向上をめざして - シミュレーションやロールプレイングを活用して - ・ 保護者等との連携 ・ 学校事故への対応 ・ 不審者への対応 等

番号5 キャリア教育研修

対象校種 小・中・高等学校

研修形態		内 容
小 ・ 中 学 校	講 義	小・中学校におけるキャリア教育の意義 ・キャリア教育が求められている背景 等
	演習・協議	教育活動全体をとおしたキャリア教育 - 教育活動をキャリア教育の視点でつなぐための工夫 - ・「道德の時間」と特別活動をつなぐ ・各教科と「道德の時間」をつなぐ ・各教科等をつなぐ 等
高 等 学 校	講 義	キャリア教育の在り方 ・キャリア教育推進の背景 ・キャリア教育の意義 ・キャリア教育の進め方
	演習・協議	キャリア教育を充実させる視点と実践 ・自校の現状把握と課題の分析 ・キャリア教育の視点を取り入れた教育活動の指導プランの作成 等

番号6 ストレスマネジメント教育研修

対象校種 小・中・高等学校及び特別支援学校

研修形態		内 容
講義・協議	ストレスマネジメント教育の基礎 ・ストレスマネジメント教育の定義と内容 ・ストレス反応とその解消法	
実 習	ストレスマネジメントの体験 ・学校のできるストレスマネジメント	

番号7 「命の大切さ」を実感させる教育研修

対象校種 小・中・高等学校及び特別支援学校

研修形態		内 容
講 義	「命の大切さ」を実感させる教育の実際 ・『「命の大切さ」を実感させる教育への提言』の活用の視点 ・小・中・高等学校及び特別支援学校における具体的な実践例	
実習・協議	<例> A 自尊感情を高める B 自己再発見 C コミュニケーション能力を高める D 死と向き合う人々や犯罪被害者・遺族から学ぶ 等	

番号 8 情報モラル研修

対象校種 小・中・高等学校及び特別支援学校

研修形態	内 容
講義・演習	<p><例></p> <p>A 情報モラルの育成と指導法 ・学校における著作権 ・学校における個人情報の適切な取扱い 等</p> <p>B 情報モラル指導用教材の作成 ・教職員研修用教材の作成 ・児童生徒用指導教材の作成 ・情報モラル学習指導計画、学習指導案の作成 等</p> <p>C 生徒指導のための情報モラル入門 ・子どもたちが利用するインターネットの世界 ・問題発生時の生徒指導について 等</p> <p>D 学校情報セキュリティ入門 ・情報セキュリティの確保 ・問題発生時の対応について ・学校情報セキュリティポリシー 等</p>

番号 9 授業におけるICT活用研修

対象校種 小・中・高等学校及び特別支援学校

研修形態	内 容
講義・演習	<p><例></p> <p>A 教科指導における効果的なICT活用 ・ICT機器（電子黒板、書画カメラ、デジタルカメラ等）の使い方 ・授業に役立つデジタル教材 等</p> <p>B 教材作成のためのアプリケーションソフトの基本操作 ・プレゼンテーションソフト ・動画編集ソフト 等</p>

番号 10 校務における ICT 活用研修

対象校種 小・中・高等学校及び特別支援学校

研修形態	内 容
講義・演習	<p>< 例 ></p> <p>A 情報発信のための Web ページ作成 ・ Web ページ作成ソフト（ホームページ作成ソフト、ブログ作成ソフト等）の基本操作 ・ Web ページの組織的な運用 等</p> <p>B ワードプロソフトを活用した校務文書の作成 ・ 案内文の作成 ・ 懇談会資料の作成 ・ 学級新聞の作成 等</p> <p>C 表計算ソフトを活用した校務文書の作成 ・ クラス名簿の作成 ・ 成績集計表の作成 ・ アンケート集計表の作成 ・ 帳票の印刷 等</p> <p>D 効果的なプレゼンテーション入門 ・ 効果的なプレゼンテーション ・ プレゼンテーションソフトを用いた見やすいスライドの作成 等</p>

番号 11 授業力向上研修

対象校種 小・中・高等学校

研修形態	内 容
小・中学校	講 義 校内授業研究の視点 ・ 「授業評価シート」の概要 等
	演習・協議 「授業評価シート」の活用の実際 ・ 自校の実態に応じた「授業評価シート」作成のポイント 等
高等学校	講義・演習 授業力の向上をめざして - 学ぶ意欲を高める授業とは - ・ 授業評価を生かした授業改善
	演習・協議 組織的な授業研究の企画・運営 - 校内研修の活性化を図る - ・ 効果的な公開授業、授業研究会の実施 等